

手作り絵本

いのち の ばとん

ぶん おともり かなで え ささき よう



ひょうし かわさき さおり

「防災一人語り」絵本・童話シリーズ **1**

このページは、手作り絵本を作るときは印刷する必要はありません。

- ※ このページは、次ページ以降、偶数ページが左、奇数ページが右で、左右見開きになるよう調整のためのページです。
- ※ PDFの画面で、右上にある「ページ表示」をクリックし、小さな画面で二つ並んだ□の左側、「2ページレイアウト」をクリックすると、左右見開きでご覧になります。小さな画面は、その画面の外をクリックすると消えます。

あかるく げんきな さおりちゃん。

かぞく みんな なかよし。

わいわい にぎやかで たのしい まいにち。

ずっと ずっと たのしい まいにち。



きょうは さおりちゃんの
16さいの たんじょうび。
リレーの せんしゅに えらばれている
うんどうかいの ひ。

“よーい、ドン” リレーが はじまった。



“バタン”

リレーの バトンを わたしたあと
さおりちゃんは とつぜん たおれました。
たくさんの中の せんせいや
おともだちが みているまえで。

「ピーポー、ピーポー」
きゅうきゅうしゃが とうちゃくしました。



「さおり がんばって」「がんばれー さおり」
みんな 「いきていてほしい」と ねがいました。

でも・・・

さおりちゃんは とおい そらの むこうに
たびだちました。

びょういんの せんせいは いいました。

「もうすこし はやく のうに
さんそが いっていたら・・・」



ママも パパも
きょうだいも おともだちも
みんな みんな
とても かなしい きもちになりました。

ママは かなしくて かなしくて
ないで ないで
なみだも かれて しました。





ママは なんども なんども
かんがえました。
「どうして さおりの いのちを
たすけられなかつたのか。
おおぜいの ひとが いたのに・・・」

そして ママは いのちの たすけかたを しりました。

それは

AED (えー いー でーいー)

とまりかけた しんぞうに

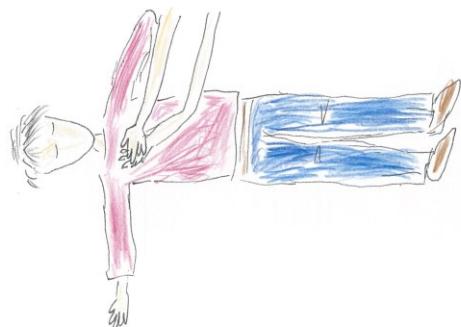
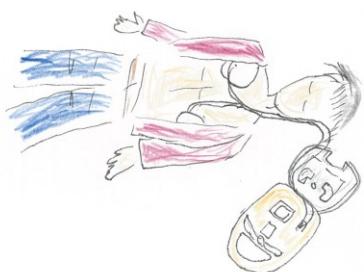
でんきショックを あたえる きかい

CPR (しー ぴー あーる)

こきゅうと しんぞうの うごきを たすけ

いのちを つなぐ ほうほう

です。



みんなの ゆうきが たいせつ。

きゅうきゅうしゃが くるまでの わずかな じかんが
いのちを たすけるために たいせつな じかん。

きゅうきゅうたいの ひとへ、びょういんの せんせいへ
いのちを つなぐ じかん。



のうに さんそを おくりつづける。
あなたの てで
A E D (えー いー でー) で ゆうきで
いのちを つなぐことが できる。

ママは みんなに つたえてきました。
いのちの たすけかたと
「いのちを たいせつに しよう」
ということ。





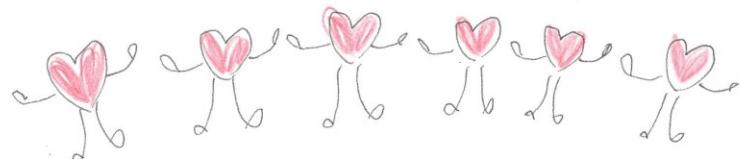
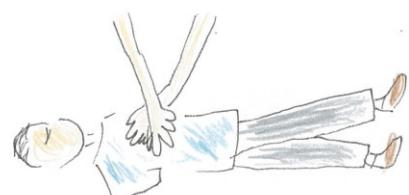
「じぶんの いのちも ほかの ひとの いのちも
おなじように たいせつに してほしい」

「あなたが いなくなったら かなしむ ひとが いる。
だれかが いなくなったら かなしむ ひとが いるよ」

ママに たくさんの中なかまが できました。

たくさんのひとが
いのちのたすけかたをしりました。

AED（えー いー でー）で
CPR（しー ぴー あーる）で
たすかるいのちも ふえました。



とおい そらの うえから
さおりちゃんは、
ママが がんばっているのを
ずっと みていました。



16 ねんの つきひが ながれました。

とおい そらの うえから
さおりちゃんは にっこりしながら いいました。
「ママ、わたしは ずっと ママを みてきたよ。
はなれていても いつも いっしょだよ。
これからは ママも わたしも
じぶんの じんせいを がんばろ」





「うん わかった。わたしも
ひとりだち しなくちゃね」

ママは とおい そらを みて
つぶやきました。
「ありがとう さおり」



あとがき & プロフィール

音森 奏 (おともり かなで)

16歳の沙織ちゃんを心室細動という心臓突然死で亡くされたお母様の救命処置の普及活動の実話を元に作られた防災一人語り「命のバトン」の脚本を基に言葉を綴らせて頂きました。

この絵本を通して、一人でも多くのお子さんに命の大切さと救命の大切さに触れる機会になることを願っています。そして、一緒に読んでくださる大人の方がお子さん達とお互いの命を大切にすることなど、お話しをする機会にして頂けたら本望です。

沢山の方のご協力の下、絵本が完成しました事に心より感謝しております。

東京都在住。趣味で物語や日々感じたことを綴りながら、いつか形にしたいと思っている。絵本の執筆は本書がはじめて。

佐々木 曜 (ささき よう)

いのち・・・それは草花、昆虫、動物、人間などみんなみんな大切。今回16歳の若さで亡くなった沙織ちゃんの話を知り、AED(自動体外式除細動器)やCPR(心肺蘇生法)で助かったかもしれない・・・でも、それをするにも勇気がいる。正しい知識を得てかけがえのない命を救いましょう。

沙織ちゃんの哀しい死がみんなの生に繋がればと、絵というバトンで力になりたいと挿し絵を描かせていただきました。

17歳で、ウィルソン病発症。身体精神疾患の為、自宅療養中。

「KO・KO・RO」かわさき市美術展入選。

たくこどもクリニック ロゴデザイン、作品展示。くまのこ園 ロゴデザイン。

Bistro DOUCE ショップカードデザイン、作品展示。土井治療院 作品展示。

ラ・スペランツァ オリーブオイル プレミアム品デザイン。

音のしゃぼん玉 ピアノ教室発表会プログラム作成。

「防災一人語り」絵本・童話シリーズ 1

いのち の ばとん



2019年4月28日 公開

Website 文化と防災の合体 <https://www.bousaihitorikatari.jp/>

文 音森 奏

絵 佐々木 曜

表紙・奥付のイラスト 川崎沙織（16歳の誕生日の4日後、2002年9月10日に
ご逝去されました）

原作 防災一人語り 第10部「命のバトン」

脚本 永島直樹

協力 NPO法人 命のバトン～命をつなぐ心を育てる会～

代表 川崎眞弓

制作 「防災一人語り」推進グループ

代表 加藤 雅

くのちの"と

